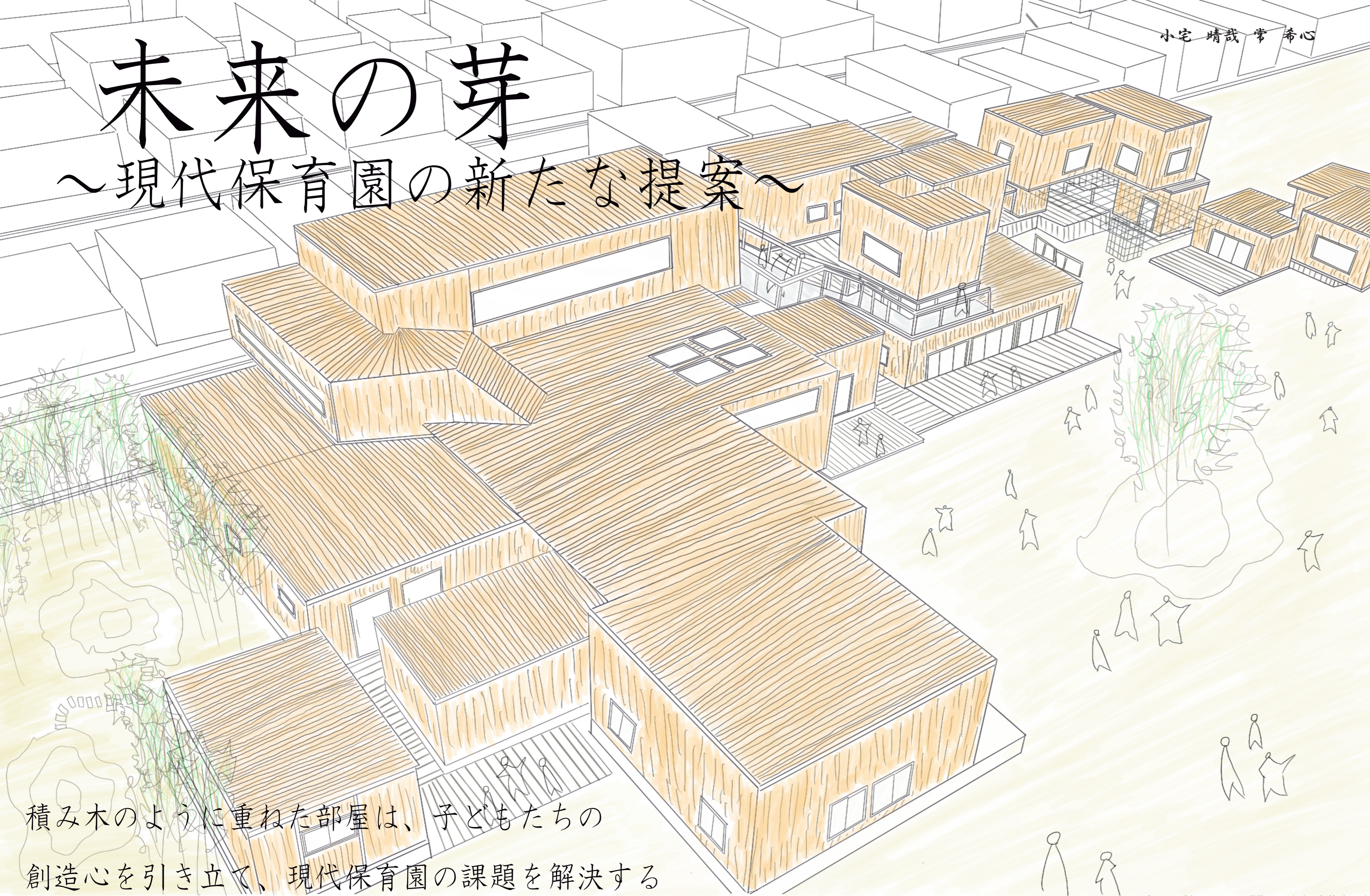


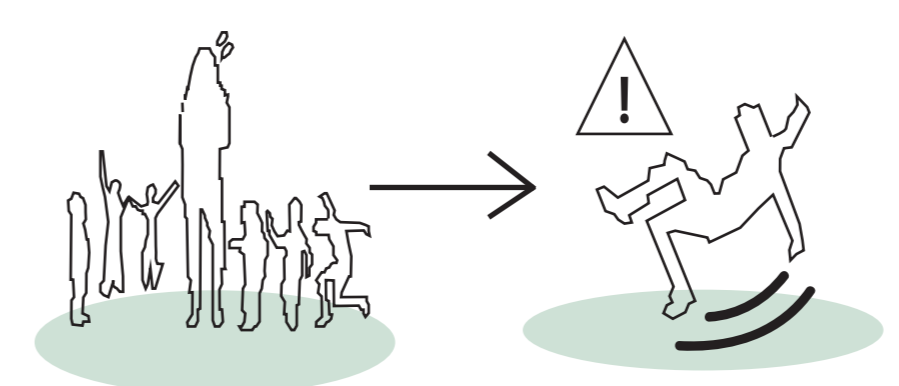
未来の芽

～現代保育園の新たな提案～



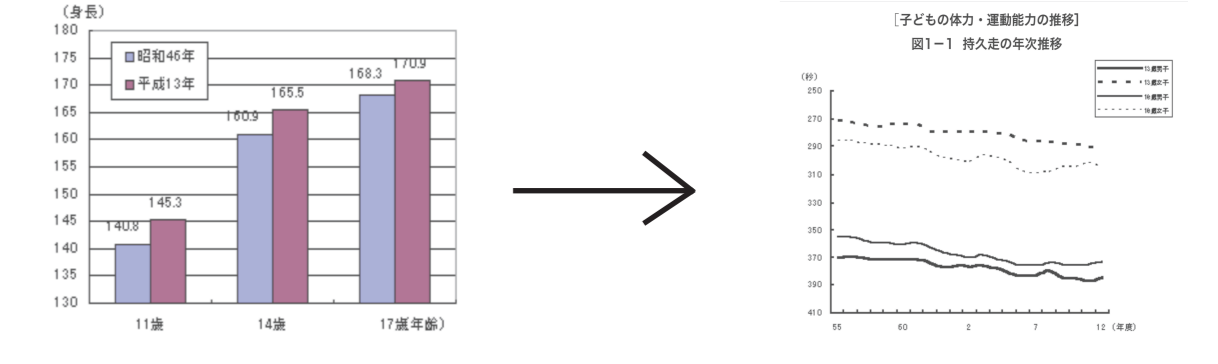
積み木のように重ねた部屋は、子どもたちの創造心を引き立て、現代保育園の課題を解決する

01. 不適切保育



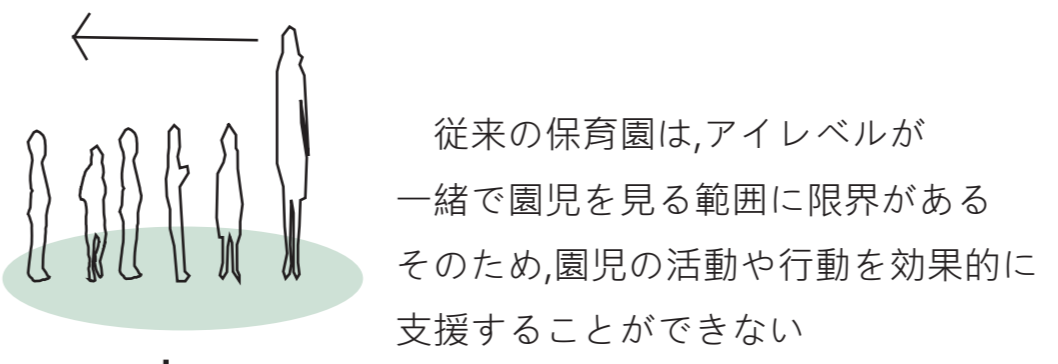
現代において、保育士不足が問題視されている
その結果、注意の行き届かない保育事故が増えている

02. 運動不足

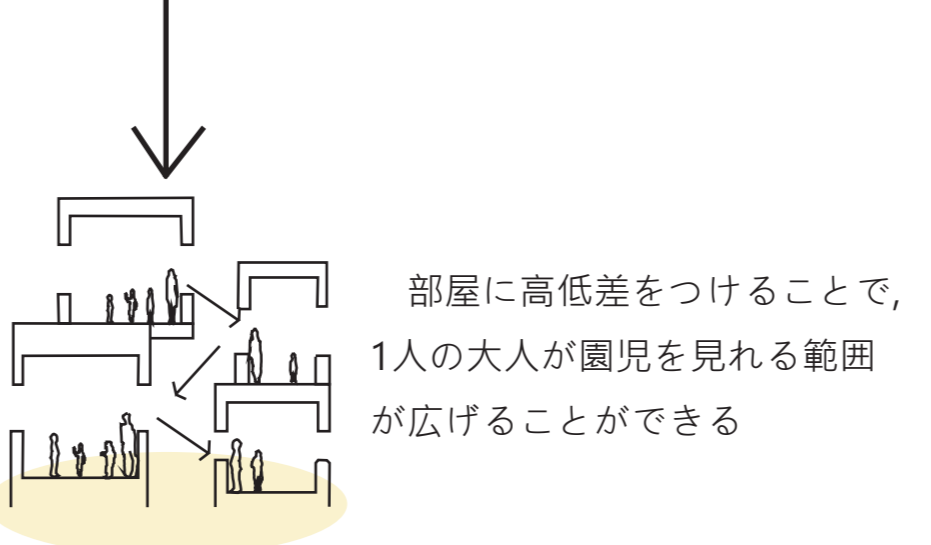


現代の子どもの体力・運動能力は親世代と比較すると、ほとんど下回っている
一方、身長・体重などの体格は親世代を上回っている

03. アイレベルを考え直す

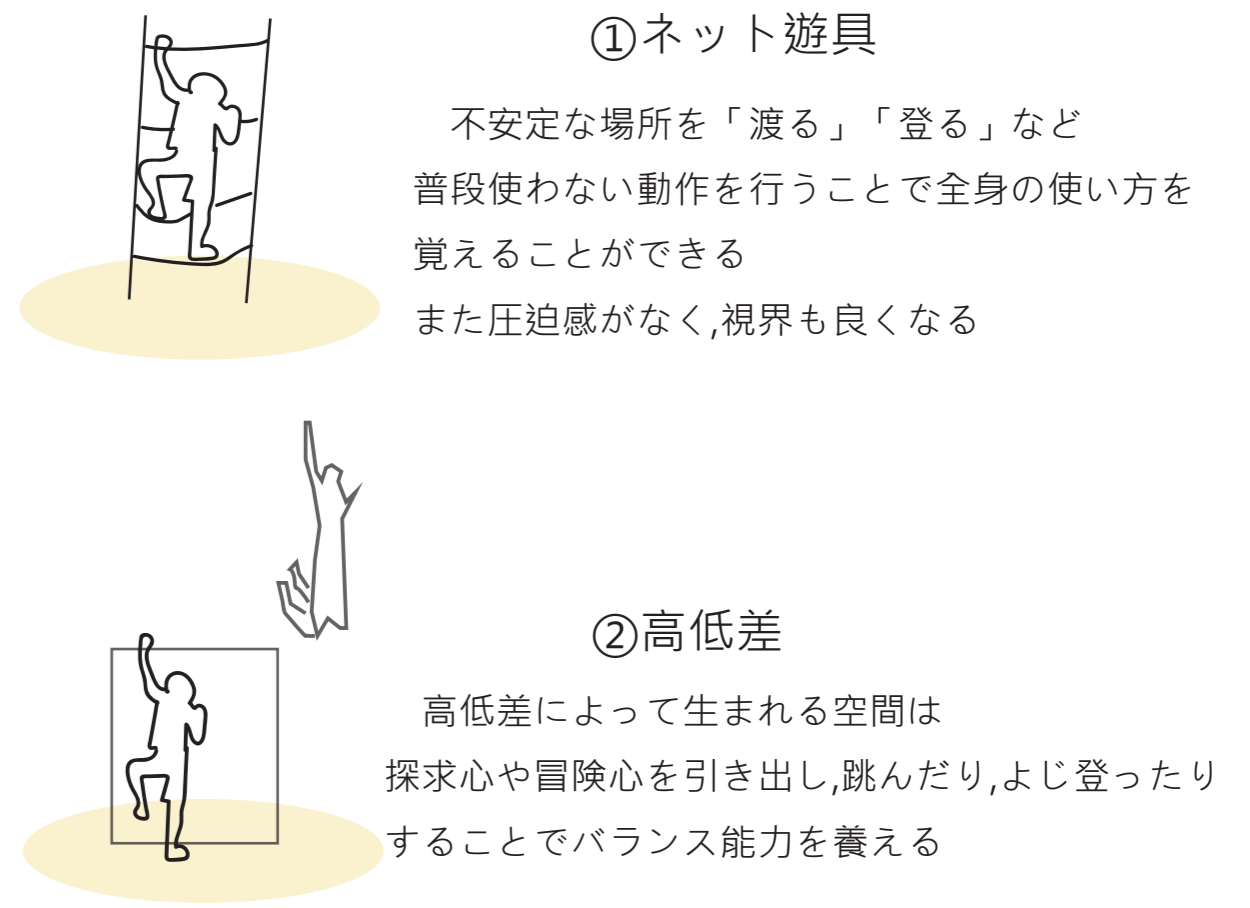


従来の保育園は、アイレベルが一緒に園児を見る範囲に限界がある
そのため、園児の活動や行動を効果的に支援することができない



部屋に高低差をつけることで、1人の大人が園児を見れる範囲が広げることができる

04. 遊び場となる空間



① ネット遊具

不安定な場所を「渡る」「登る」など普段使わない動作を行うことで全身の使い方を覚えることができる
また圧迫感がなく、視界も良くなる

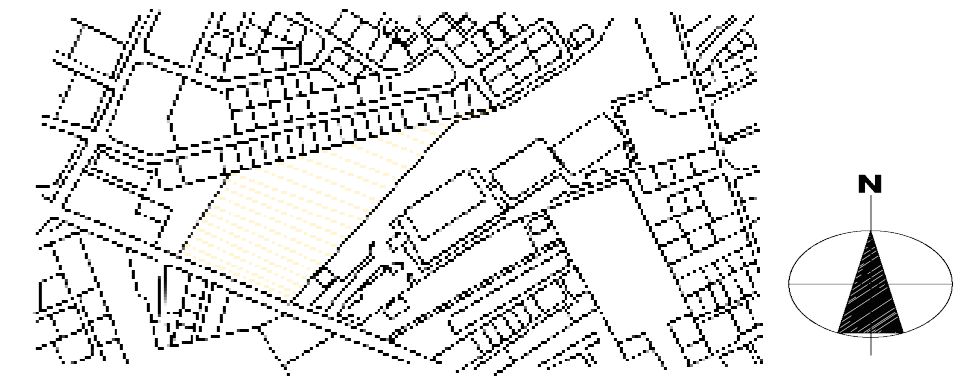
② 高低差

高低差によって生まれる空間は探求心や冒険心を引き出し、跳んだり、よじ登ったりすることでバランス能力を養える

05. 計画地

場所：千葉県柏市豊四季 おおたかの森地区
※つくばエクスプレス 流山おおたかの森駅 徒歩7分
この地区は、毎年人口が増加しており、これからも子育て世帯が増えると予想されている

敷地面積	9 5 3 4 . 8 9 m ²
建築面積	1 3 6 9 . 7 8 m ²
一階延床面積	1 0 3 7 . 1 3 m ²
二階延床面積	4 5 8 . 0 2 0 m ²
総延床面積	1 4 9 5 . 1 5 m ²



乳幼児保育室は、窓を四方設け常に周りに職員がいる

小さな丘を設け休憩や会話ができる

隣接している病院の方々とおしゃべりができる交流スペース



奥に続く細道が先に進みたくなる好奇心をくすぐる

部屋ごとに高低差をつけ全体が見渡しやすい
高低差があることで、建物全体が遊び場になる

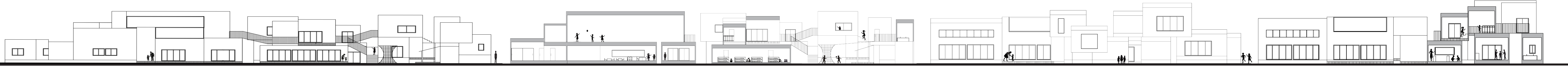
お遊戯会や室内遊戯を行う

中間領域を多く設け、人と自然を円滑に結びつける

吹抜を設け、部屋を介してコミュニケーションができる

1階と2階をつなぐネットアスレチック

スロープ・階段で部屋をつなげ、上からも下からも視界がよい



南立面図 0 5 10 15m

南断面図 0 5 10 15m

東立面図 0 5 10 15m

東断面図 0 5 10 15m